



「ひとつ上の豆乳」が好調だ
7月発売の「ひとつ上の豆乳 豆乳飲料 和栗」が株式会社日本アクセスの選ぶ「新商品グランプリ2023年秋冬」のグランプリを受賞。昨秋リニューアルした「ひとつ上の豆乳」シリーズは、好調を維持している。2023年春に発

豆乳特集②

マルサンアイ

「ひとつ上の豆乳」CVS先行で好調を維持

マルサンアイは調製豆乳・無調整豆乳と併せてプレミアムタイプの「ひとつ上の豆乳」シリーズを展開。豆乳加工品のプラントベースドフード「食べる豆乳」として豆乳ヨーグルト「豆乳グルト」、乳原料不使用の「豆乳シユレッド」「豆乳スライス」シリーズで新規市場に乗り出している。開発統括部・商品開発室の梶原俊一企画課長に話を聞いた。

(聞き手 亀井和真)



表された「ひとつ上の豆乳 豆乳飲料 あまおう」は、全国のセブンイレブンで初めて採用され、ローンチで全国に販売が広がった。コンビニエンス先行で好調

「おいしい豆乳を作りたいたい」との思いから、大豆由来の渋みやえぐみを抑えた国産プレミアム大豆「るりさやか」に最適なフレー

に滑りだした。「おいしい豆乳を作りたいたい」との思いから、大豆由来の渋みやえぐみを抑えた国産プレミアム大豆「るりさやか」に最適なフレー



「豆乳飲料事業の2023年度(22年9月21日〜23年6月20日)の推移は

「豆乳飲料事業の2023年度(22年9月21日〜23年6月20日)の推移は

「豆乳飲料事業の2023年度(22年9月21日〜23年6月20日)の推移は

「茶」や「白桃」、「ココア」も好調。より上質な「和栗」のイメージが季節にもトレンドにも合致したのではないかと。「るりさやか」を使った無調整豆乳が消費者に届くように営業にも力を入れている。

「豆乳グルト」「豆乳チーズタイプ」の手応えは

「豆乳グルト」は今春、累計出荷が5000万個を突破した。富山県立山町に新設した製造ラインは順調に稼働して

「豆乳飲料事業は前年比で0・9%で推移している。調製豆乳と無調整豆乳、毎日おいしい無調整の3本柱が引き続き好調を維持しながら「カロリーオフ」のカテゴリが伸長している。「豆乳イコール健康」のイメージが広がり、東海エリア以外でも好評だ。豆乳カテゴリーには今までなかった「砂糖不使用」はキリマンジャロブレンドで甘くない味わいの「豆乳飲料 麦芽コーヒー」砂糖不使用200mlが好調。23年秋冬、ファミリータイプの1000mlを投入した。朝食時にこれまで豆乳を飲んでいなかった層に届いている。出荷は未知数だが、植物性ミルク「オーツミルク」や「アーモンドミルク」を日本市場の柱となるように育てたい。

豆乳でもっとヘルシー生活!

食べる豆乳

豆乳グルトシリーズは皆さまに愛されて

植物性ヨーグルト売上 No.1

お通じを改善する 機能性表示食品 豆乳グルト

植物由来の乳酸菌

豆乳シユレッド

豆乳スライス

※インテグレーション+ 植物性ヨーグルトカテゴリー 2020年9月~2023年3月 累計販売金額 豆乳グルトシリーズには、「豆乳グルト機能性表示食品400g」「国産大豆の豆乳使用豆乳グルト400g」が含まれます。

NEW

ひとつ上の豆乳

「おいしい」だけで、できている。

1000ml 発売中

ひとつ上の豆乳 和栗

ひとつ上の豆乳

ひとつ上の豆乳 調製豆乳

ひとつ上の豆乳 ココア

ひとつ上の豆乳 紅茶

ひとつ上の豆乳 白桃



マルサンアイ 検索

マルサンアイ株式会社 お客様相談室 ☎0120-92-2503 <https://www.marusanai.co.jp/>



エスビー食品

上期は即席・香辛調味料が伸長

「13面から続く」
 いる。「豆乳グルト」は2010年に販売開始から徐々に認知度を広げて伸長している。日本フードアナリスト協会の「ジャパン・フード・セレクション」のグランプリを受賞。豆乳グルト・豆乳シユレッド・豆乳スライスの「食べる豆乳」シリーズは、持続可能な「食



の社会課題」の解決として位置付けている。

——コロナ禍に続いて不安定な国際情勢、気候変動に起因した原材料や動力費が高騰している。燃料費や電力料などの製造費も上昇している。8月に豆乳製品の価格を改定。厳しい状態はこれからも続くともみている。

エスビー食品がこのほど発表した2023年度上期(4～9月)の連結業績は、売上高が前年同期比2.8%増の631億5700万円、営業利益が0.3%増の32億7700万円だった。

食料品事業は全般的に業務用が好調で、家庭用も即席や香辛調味料が伸長したこと増収となった。利益面は、原材料価格の高騰等により売上原価率が上昇しているものの、価格改定の効果や原価低減による経費削減が奏功したことで営業増益を確保した。

製品別売上高(家庭用・業務用・輸出入の合算)は、スパイス&ハーブの香辛料(チューブ入り/液体香辛料除く)が143.5億円、2.5%増。主要香辛

料は、カレー粉18.9億円、9.2%増。こしょう21.4億円、6.9%増。洋風スパイス(シーズニング含む)50.5億円、2.6%減。フレッシュハーブは12.6億円、3.9%増。即席カレーは156.1億円、13.8%増。「ゴール



「栗原はるみのシチュー」が35.3%増と大きく伸長。即席ハヤシは11.9億円、14.4%増。「ゴール

デンカレー」が11.7%増と2ケタ増で、「栗原はるみわたしのカレー」、新製品「赤缶カレーパウダー」(写真)も貢献。即席シチューは17.5億円、3.0%増。「栗原はるみのシチュー」が35.3%増と大きく伸長。即席ハヤシは11.9億円、14.4%増。「ゴール

デンハヤシ」とろけるハヤシ」が増加。香辛調味料のチューブ入り香辛料は151.6億円、5.8%増。「お徳用」シリーズが6.8%増、「本生」シリーズが5.0%増。中華・李錦記シリーズの中華(菜館+町中華)は10.9億円、10.0%増。李錦記シリーズは37.6億円、4.8%増。「がらすープ」が増加。インスタント食品他のレトルトカレーは79億円、1.0%

増。「噂の名店」が13.9%増、「神田カレーグランプリ」が1.4%増。パスタシリーズは46.9億円、7.4%増。「まぜるだけ」シリーズが14.0%増。

24年3月期の連結業績は、売上高が前期比3.2%増の1245億円、営業利益が5.6%増の57億円、経常利益が6.1%増の58億円、当期純利益が7.8%増の44億円と増収増益を予想。

灘五郷、灘から江戸へ現代版樽廻船が出発



【大阪】灘五郷酒造組合は10月29日、「灘の下り酒物語 From K O B E」を神戸ハーバーランド・高

浜岸壁で開催した。日本酒造り」をテーマとし、これまでの「灘五郷」の酒造りの歴史に触れながら「灘の酒」を楽しむイ

を博したことを踏まえ、現代版樽廻船」を仕立てた。ヨットに樽を積み込み、当時と同じ風の力で東京までお酒を運ぶ。

趣旨。現代は世界に向けて日本酒が羽ばたき、外国にもつながっていることを感じながらイベントを楽しんでもらえれば」とあいさつした。

の再現などを行った。蔵元出席アースは大関、日本盛、白鷹、白鹿、島美人、千代田蔵、浜福鶴、櫻正宗、白鶴、菊正宗、剣菱、福寿、沢の鶴、灘の生一本、白雪、千鳥正宗、老松。

ベント。観光庁「観光再始動事業」採択事業。大阪国税局、神戸市、西宮市、伊丹酒造組合、兵庫県酒米振興会などが協力。

出航にあたり、嘉納健二理事長(白鶴酒造)は、「灘の酒は秋に収穫したお米を冬に仕込み、ひと夏熟成させた秋映えの酒として皆様に飲んでいただき、この時期にまた次の仕込みに入るという何を百年も繰り返してきた。SDGsが目されるなかで日本酒が見直されてきている。今回は江戸時代の灘から江戸へを再現するのがイベントの

日本固有種の馬が曳く大八車で樽を運び、積み込んだ後、ヨットが出発した。1週間程で到着。5日に東京都港区のウォーターズ竹芝で、樽廻船到着式と灘の酒試飲会を行った。

イベント会場ではこのほか、灘・伊丹の酒蔵が展示し有料試飲会を実施。酒造り唄の披露、菰樽ワークショップや暖気樽づくりの実演、酒造りのSDGsを紹介する展示、AR技術による神戸港に浮かぶ樽廻船